

Release Identification: LTC3785

2007.10.03

リニアテクノロジー、新製品「LTC3785」を販売開始

中電力出力に最適化されたシングル・インダクタ、低 V_N、昇降圧 DC/DC コントローラ

2007年10月3日 - リニアテクノロジーは昇降圧 DC/DC コントローラ「LTC3785」の販売を開始しました。LTC3785は、タブレット PC、ハンドヘルド機器、ワイヤレスモデム、携帯メディア・プレーヤといった、1または2セル・リチウムイオンで駆動する製品をはじめ、複数セル・アルカリ/NiMH 駆動機器に電力を供給するために、出力電圧を上回るまたは下回る入力電圧でも、また出力電圧と等しい入力電圧でも動作する96%効率の昇降圧スイッチング・レギュレータ・コントローラです。LTC3785は4mm×4mm QFN-24パッケージで供給され、1,000個時の参考単価は430円(税込み)からで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。

中電力の昇降圧回路は従来、トランス(SEPIC)またはカスケード接続された2個のDC/DCコンバータ(1個は昇圧変換、もう1個は降圧変換)に依存してきました。LTC3785は2.7V~10Vの入力電圧でインダクタを1個使用するだけで、同じ出力範囲を実現し、最大50Wの出力電力を供給可能です。LTC3785は4スイッチ同期整流で動作し、降圧動作モードと昇圧動作モード間のシームレスな遷移が可能です。

LTC3785の独自のトポロジーと制御アーキテクチャは、順方向および逆方向電流制限のためにMOSFET RDS センスを採用し、例のない高効率を達成します。より高い精度が求められる場合にはセンス抵抗を使用することもできます。また、軽負荷時の消費電流を 100 μ A 以下に低減する Burst Mode®動作が可能で、バッテリ駆動システムにおいて威力を発揮します。さらに、すべての動作モードにおける過電圧、過電流および短絡状態に対するフォールト保護機能を搭載しています。動作周波数は 1 本の抵抗を使用して 100kHz~1MHz の範囲で設定可能です。シャットダウン時には真の出力切断を行います。

LTC3785 の特長

- シングル・インダクタ・アーキテクチャにより、出力電圧を下回る/上回る、あるいは等しい入力電圧での動作が可能
- 入出力電圧範囲:2.7V~10V
- 4 スイッチ、同期整流動作により、最大 96%の効率を達成
- RDS 電流センスにより、効率を改善
- 無負荷時の消費電流:100 μ A
- プログラム可能な固定周波数動作:100kHz~1MHz
- 過電圧および過電流保護

- シャットダウン時の真の出力切断
- すべて N チャネルの MOSFET パワースイッチ

フォトキャプション:10V シングル・インダクタ同期整流式昇降圧コントローラ

Copyright: 2007 Linear Technology

以上